



## 路線バス(乗合バス)の上限運賃変更認可の申請について

株式会社東海バス(本社:静岡県伊東市 社長:眞野 大輔)は、2023年8月17日(木)に、中部運輸局に対し、路線バス(乗合バス)運賃の上限運賃変更認可の申請を行いました。

なお、申請概要等につきましては、下記のとおりです。

ご利用いただいておりますお客さまには、何卒事情ご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1 申請理由

東海バスは、1997年6月1日実施の前回改定(消費税率引上げによるものを除く)から、約26年間運賃を据え置き、安全運行を最優先としながら、路線網の拡充や交通系ICカードの導入等の利便性・快適性向上を目的としたさまざまな施策を行い、お客さまの大切な足として運行してまいりました。

しかしながらこの間、社会環境は変化し、少子高齢化や人口減少、マイカー等との競合等、バス利用者数の確保が非常に困難な状況が続き、さらに近年では、新型コロナウイルス感染症拡大による新たな生活様式の定着により、移動需要自体が減少したため、収入面において極めて厳しい状況となっております。

さらに、不足しているバス運転士を確保するためには、さらなる労働環境の改善が必要であり、こうしたことへの対応のための原資が必要となる等、引き続き厳しい経営状況が続くと予想されます。

こうしたことから、今後も安全安心な輸送サービスを持続的に提供し、公共交通事業者としての使命を果たしていくため、今般、上限運賃変更認可の申請を行いました。

#### 2 申請概要

##### (1) 申請日

2023年8月17日(木)

##### (2) 運賃改定実施予定日

2023年12月1日(金)

##### (3) 申請対象路線

一般路線バス全路線(一部自治体自主運行バス路線等を除く)

##### (4) 上限運賃の平均改定率

22.84%

※運賃改定にあわせ、定期券の割引率の変更を行う予定です。

(5) 現行・申請運賃比較表

		現行運賃	今回申請	
			申請上限運賃	実施運賃(予定)
初乗り運賃		170円	200円	200円
定期券 (1ヶ月)	通勤	6,630円	8,400円	8,400円
	通学	6,120円	6,600円	6,600円
	通学ウイークデー	4,640円	5,040円	5,040円

※1 申請上限運賃は、事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃は、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客さまから収受する運賃額です。

※3 初乗り運賃は、現金、IC同額です。

(6) 主な区間の現行運賃・改定運賃比較表

区間	片道運賃		通勤定期券(1ヶ月)		通学ウイークデー(1ヶ月)	
	現行	実施(予定)	現行	実施(予定)	現行	実施(予定)
熱海駅～紅葉ヶ丘	290円	360円	12,180円	15,120円	7,920円	9,070円
伊東駅～逆川	280円	320円	10,920円	13,440円	7,640円	8,060円
下田駅～下賀茂	660円	780円	25,740円	32,760円	18,020円	19,350円
松崎～下田駅	1,290円	1,520円	50,310円	63,840円	25,870円	26,490円
修善寺駅～出口	440円	540円	17,160円	22,680円	12,010円	13,610円
三島駅～松本	290円	330円	11,310円	13,860円	7,920円	8,320円

※1 片道運賃は、現金、IC同額です。

3 輸送人員および収支状況

		輸送人員	収支状況
実績年度(2021年度)		5,071千人	△557,361千円
平年度(2024年度、推計)	改定前	6,477千人	△360,325千円
	改定後	6,218千人	△1,364千円

4 これまでの経営合理化状況及び今後の取り組み

東海バスは、1999年に東海自動車(株)から分社し、以降、事業エリアごとに運営を行ってまいりましたが、分社から20年が経過し、この間の社会情勢の変化や地域人口の減少等により、各社の経営環境が厳しくなり、各社単独での事業継続が難しくなったことから、経営資源を一元化することにより、経営基盤を強化し、安定的な人材確保と柔軟な人員配置を図るため、2020年に5社を合併し、今日に至っております。

この間には、ダイヤの見直し、割引商品(フリーパス、回数券等)の改廃、営業所の統廃合による経費削減を図る等、さまざまな収支改善に向けた取り組みを行い、さらには、国庫補助路線化の推進等により、路線の維持を図ってまいりました。

今後につきましても、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進等により業務の効率化を図り、収支改善に努めてまいります。

5 安全対策への取り組み

東海バスでは、安全方針である「安全に、より安全に、もっとも安全に」を礎に、継続して安全目標を設定し安全対策に取り組んでおります。

具体的には、ソフト面においては運転士の経験や業務状況にあわせた各種研修の実施により、法令に準拠した指導教育を強化しております。また、運行管理者への研修も充実させ指導スキルアップを図っております。

ハード面においては既に全営業所の貸切・高速バスに導入済みである衝突防止補助システム「モバイルアイ」を全営業所の乗合バスへの完全導入を進めております。さらに安全補助装置として、既存乗合バスへバックカメラ映像を解析し後退時に動体・静止物への注意喚起を行う後方カメラ機能拡張システムの導入など、引き続き積極的に投資を進めて安全対策に努めてまいります。

## 6 サービス向上の取り組み

東海バスでは、2008年に「安心サービス基準」を制定し、以降、積極的にCS活動を推進してまいりました。

また、2013年からは、「わかりやすいバス乗りやすいバス」をスローガンに、さまざまな利便性向上の取り組みを行っております。取り組み内容としては、時刻表の全戸配布、バスの乗り方教室の充実、高校生アンケートの実施、バスロケーションシステムの導入、デジタルサイネージの設置、Ma a Sへの参画（デジタルフリーパスの取り扱い）、案内所におけるクレジットカード・QR決済コードの取り扱い等です。

その他、国庫補助を活用した車両の更新や観光情報サイト「Izu Letters」の立ち上げ、さらに、2022年3月には、全営業所において交通系ICカードの取り扱いを開始する等、積極的にサービス向上に取り組んでまいりました。

今後については、既に実施していることですが、観光需要の回復に合わせ、観光地間を結ぶ路線の新設や観光路線の便数の増回により、地域住民の足の確保を図ってまいります。また、インバウンド旅行者等への対応として、バス停の更新を行い、あわせてバス停コードの付与や多言語表記を行う等、さらなる「わかりやすいバス乗りやすいバス」の推進を図ってまいります。

## 7 お問い合わせ

東海自動車株式会社 計画課 TEL：0557-36-1114

営業時間：9：00～17：40（定休日：土曜日・日曜日・祝日・年末年始）

以上

このニュースリリースに関するお問い合わせは、次の担当までお願いします。 東海自動車株式会社 広報・CSR推進課 日下部・土屋 TEL：0557-36-1111
--